

## 腹膜透析患者における透析液中 CA125 の性差の検討

土谷 千子:1 松尾 七重:1, 丸山 之雄:1, 横尾 隆:1

1:東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科

**【目的】** 腹膜透析 (PD) は腎代替療法の 1 つとして確立されているが, その経過 (透析効率, PD 継続率, 生存率, 心血管疾患などの合併症, PD 離脱理由など) や PD 関連合併症 (腹膜炎, 出口部・トンネル感染, ヘルニア, 横隔膜交通症, リーク, カテーテル位置異常, カテーテル痛など) における性差を検討した報告はわずかである. そこで, 今回は中皮細胞機能のマーカーである PD 排液中 CA125 に注目した. CA125 は分子量 20 万以上の糖タンパクで, 血中濃度は女性ホルモンの影響を受けるとされており, PD 排液中での動態も性差が生じる可能性がある. これまで PD 排液中 CA125 の低下は, 腹膜劣化のマーカーとして, PD の重篤な合併症である被嚢性腹膜硬化症の発症予測因子としての議論がされている. 本研究は PD 排液中 CA125 値の性差補正が必要かを検討することが目的である.

**【方法】** 慈恵医大附属病院および分院において 2021 年 4 月以降に PD を新規に導入した患者 (年間 60 名程度) に対し, 中皮細胞マーカーである CA125 を, 導入時, 半年後, 1 年後の 3 点の PET 検査排液と血清で測定し, 絶対値・経時的変化の性別における違いについて検討する予定である. 現在, 倫理委員会申請中である

**【考察・結論】** PD において, 性差として考えられるのは第 1 に腹腔内臓器の違いである. 女性には付属器があり, ダグラス窩は男性では膀胱直腸窩, 女性では子宮直腸窩である. また, 閉経前の女性では, ホルモン周期がある点が大きな違いとなる. 第 2 には, 女性は男性に比較し筋肉量が少なく, 尿毒素の産生が少ないこと, 骨盤腔が広いことため透析効率がよいという報告がある. 第 3 には, 日常動作や洋服などの違いにより, 出口部への負担が性別によって異なる可能性がある. 第 4 には, 貧血・脂質代謝・尿酸代謝など, 一般的に性差が確立されているパラメータの関与である. これらの違いにより, 男女間で PD 療法の経過 (離脱率, 離脱理由, PD 合併症など) が異なる可能性は高いと考えられる.